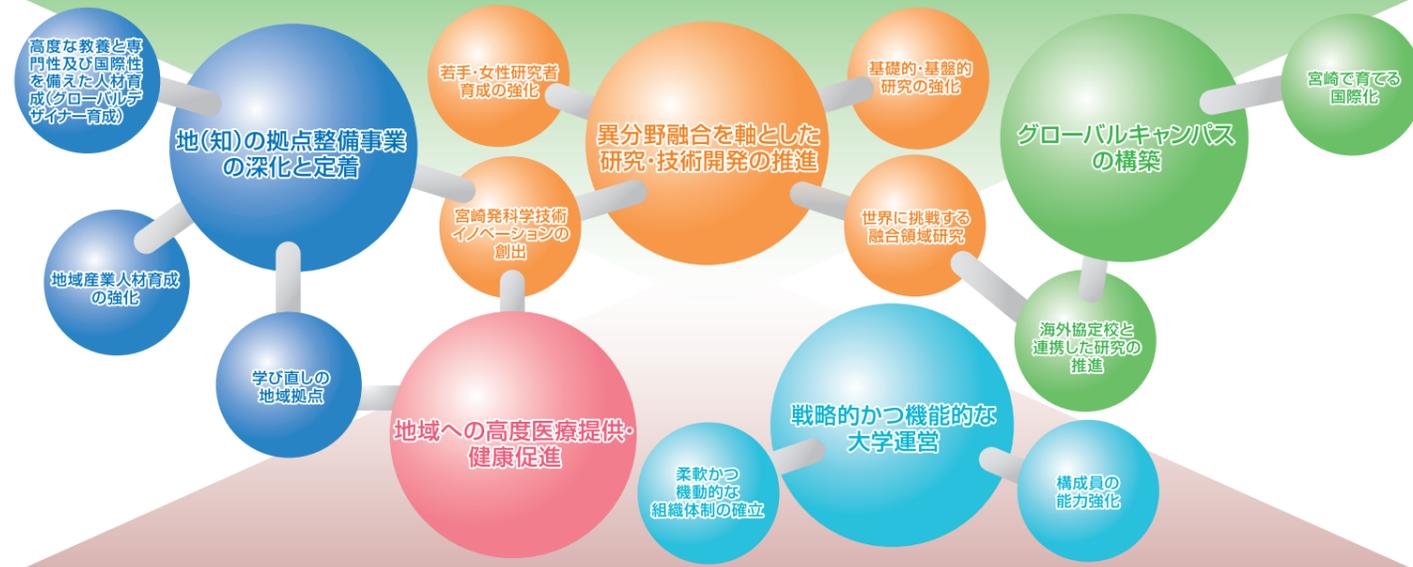


## Visionの全体像

### 地域と共に興す「新たに光る宮崎ブランド」の確立と発信



### 異分野融合を軸に「地の利、人の利」を活かした教育研究等の推進

#### 異分野融合を軸とした研究・技術開発の推進

異分野融合を軸に「地の利」「人の利」を活かし、日本をリードする研究で世界レベルを目指すとともに、若手・女性研究者を育成し、研究推進力の強化を図ります。

##### 次世代を担う若手・女性研究者の育成

- 次世代のイノベーション創出に向け、多様な個性と能力を最大限に活用するため、テニュアトラック制を核とした、女性・若手研究者の積極的な採用と育成を推進します。

##### 学術的な基礎・基盤研究の推進と支援体制の強化

- 日本の学術研究・イノベーション創出を支える基礎的・基盤的研究を推進するとともに、研究支援体制を充実し、研究展開力の強化を図ります。

##### 異分野融合研究から世界レベルの研究を創出

- テーマに即応した研究チームの柔軟な編成が可能となる制度を整備し、機動的かつ流動的に異分野融合研究を推進することで、先端的研究の芽を育みます。
- 戦略的に強化すべき異分野融合研究プロジェクトには学内資源を重点的に配分し、世界に通用する宮崎発の新たな技術や学術成果の創出を目指します。

##### 「知の循環拠点」としての機能強化

- 地域の特質を活かした研究を推進し、宮崎発のイノベーションを創出させることで、「光る宮崎」づくりを地域とともに目指します。
- 地域に開かれた知の循環拠点として、県内自治体・企業・団体・教育機関が抱える課題解決に努めるとともに、学校教育現場に大学での研究成果を還元します。

#### 地域への高度医療提供・健康促進

地域のニーズに沿った高度医療の提供を目指し、国立大学の附属病院として地域医療や健康促進等へ貢献します。

##### 宮崎唯一の特定機能医療機関としての機能強化

- 地域へ高度な先進医療や質の高い医療を提供し、地域医療水準の向上を目指します。
- 医療システムネットワークを活用し、宮崎県全体をフィールドとした臨床研究やコホート研究を行い、日本の医療水準向上に貢献します。
- 臨床研究を推進するために、学内における支援体制を強化します。

##### 地域医療への貢献

- 附属病院が中枢となった疾患別の県内医療システムネットワークを整備し、県内医療機関等の連携を強化することによって、地域医療に寄与します。
- 県内の自治体や医療機関と連携し、地域から必要とされる医療従事者の養成に努めます。

##### 宮崎発の医療技術・医療機器の開発

- 東九州メディカルバレー構想を軸として、地域の企業と連携し、異分野融合型研究を活用することにより、宮崎発の医療技術・医療機器を開発します。

##### 宮崎のスポーツ振興や健康増進への貢献

- 宮崎県等との連携のもと、宮崎のスポーツ振興拠点化や県民の健康増進・高齢化対策等へ貢献します。

##### 新興国における医療水準向上への貢献

- 地域で培った医療技術や医療システム等を新興国で普及させ、現地の医療水準の向上に貢献します。

#### 地(知)の拠点整備事業の深化と定着

異分野融合や地域課題を活かした教育を基盤に、グローバル社会において地域・日本・世界を牽引できるリーダーを育成するとともに、地域の学びの場としての機能を強化します。

##### グローバルデザイナーとしての資質の涵養と深化

- 教養教育と専門教育が有機的に連携した教育システムにより、地球規模で考え、自らの力で未来を切り拓くことのできるたくましい人材「グローバルデザイナー」を目指し、社会人として即戦力になりうる人材の育成を行います。
- 大学院では、グローバルデザイナーとしての資質を深化させるため、高度な教養と専門性及び国際性を備えた人材を育成します。

##### 異分野融合を活かした教育の展開

- 各分野が柔軟かつ有機的に連携しながら教育を展開することにより、物事を多面的・多角的に捉え、高度な課題解決策を提案できる人材を育成します。
- 異分野融合教育手法やコンテンツ等を国内のロールモデルとして発信します。

##### 社会・地域のニーズに対応した教育の展開

- 社会のニーズに対応した学部・大学院の再編に積極的に取り組みます。
- 地域資源から学び、地域課題の解決を志向する実践的教育やキャリア教育を展開し、課題解決能力や社会の変化に対応できる能力を備えた人材を育成します。

##### 地域社会の学び直しの場を強化

- 地域の学びを牽引する「知の循環拠点」として、県内自治体や教育機関と連携した新たな「学び直しの場」を構築し、地域社会における学び直しや生涯学習のニーズに対応した教育機能の強化に努めます。

##### 優秀な学生確保のための体制整備

- 外部試験(TOEFL等)を利用した入試制度の導入等、優秀な学生確保に向けた入試改革に取り組みます。
- カリキュラム見直しや教育システム等の改革を常に行うことで教育の質の保証に努め、魅力ある修学環境の提供や、海外協定校と連携、海外サテライトオフィスの活用等により優秀な日本人学生・外国人留学生を確保します。

##### 学生を第一に考えた学生支援体制等の整備

- 学部・大学院学生の希望や専門領域に応じたきめ細やかな学修支援・キャリアパス支援体制を整備します。
- 障がいのある学生に対する全学的な支援体制の整備・強化に努めます。

#### グローバルキャンパスの構築

地域の中核的国際拠点としてグローバルキャンパスを構築し、その機能を地域へ循環することで地域の国際化を牽引します。

##### グローバルキャンパス構築とグローバル人材養成

- 海外サテライトオフィスの拡充や現地での授業開講を推進し、海外サテライトオフィスの海外キャンパス化を目指します。
- 外国人教員による教育の増強及び外国人留学生の増加を行い、グローバル社会に対応できる語学力と国際的感覚を身に付けた人材を育成します。
- 学期制の変更、国際交流基金の創設、外国人留学生と日本人学生の交流機会の拡充等の環境を整備し、海外留学を推進します。
- 日本語教育人材育成の国内拠点化を目指し、海外協定校とのコンソーシアム構築等を推進します。

##### 地域の国際展開への積極的な参画

- 県内自治体・企業団体と連携し、海外サテライトオフィス等を活用してフードビジネスを中心とした各種海外事業展開に貢献するなど、「オールみやざき」で取り組む横断的・多面的な国際展開を推進します。

##### 地域で培った学術的課題解決の国際展開

- 環境や食糧問題等の地球規模での課題解決を、JICA等の国際協力機関や海外の研究機関等との連携や海外サテライトオフィス等の活用により推進します。

##### 海外協定校等との連携による国際共同研究の推進

- 海外協定校や教育研究機関との連携を強化し、共同研究等を推進します。

#### 戦略的かつ機能的な大学運営

不断の大学改革と、未来を見据えた大学運営を推進します。

##### 戦略的かつ機動的な大学運営

- 学長のリーダーシップを発揮できる新たなガバナンス体制を整備し、トップダウン機能とボトムアップ機能のバランスのとれた大学運営を目指します。
- 予算や人的資源等の学内資源を効果的に配分することにより、大学の機能強化に努めます。
- 各組織のミッションや必要性を常に見直し、業務運営の改善及び効率化に積極的に取り組みます。

##### 宮崎大学ブランドの確立

- 宮崎大学ブランド構築のため、様々なアウトリーチ活動を支援する体制を整えます。

##### 戦略的な情報化の推進

- 大学運営を支援するために、安心かつ利便性の高い情報環境を持続的に整備します。

##### 構成員の能力強化と機能的な組織運営

- 教職員の語学力、企画力等の底上げを行い、社会の環境変化に耐えうる運営組織を目指します。
- 人事制度や研修制度を抜本的に見直し、教職員が大学の構成員として高い意識を持って職務に従事できるシステムを構築します。
- 大学改革等の変革に合わせ、常に適切な事務体制を組織するとともに、職員の資質に応じた適材適所な配置を行い、業務の効率化と活性化を図ります。
- 一人一人の個性と能力を尊重する男女共同参画を推進し、多様な人材が活躍・登用できるよう環境を整備します。

##### キャンパスの機能強化

- キャンパスの再評価を継続的に実施し、大学の機能強化につながるイノベーション創出のための環境や、学生の学修と生活を支えるための環境、日本人学生・留学生・教職員らの国際交流を促すキャンパス構築を目指します。
- 省エネ及び維持コスト削減仕様のキャンパスづくりを推進します。